

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2006-186684(P2006-186684A)
【公開日】平成18年7月13日(2006.7.13)
【年通号数】公開・登録公報2006-027
【出願番号】特願2004-378268(P2004-378268)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月7日(2007.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各番組の開始時刻を特定可能な番組表を記憶する番組表記憶手段と、
ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表から、該録画の要求がなされた番組の開始時刻を取得する番組開始時刻取得手段と、

前記番組開始時刻取得手段によって取得された前記番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令をネットワークを介して所定の録画装置に送信することにより、前記録画の要求がなされた番組の録画を該録画装置に指令する録画指令手段と、
を備える移動体通信端末。

【請求項2】

前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表に前記録画の要求がなされた番組が掲載されていない場合、前記ネットワークを介して接続される所定の番組表サーバから、該録画の要求がなされた番組が掲載された前記番組表を取得する番組表取得手段をさらに備える、
ことを特徴とする請求項1に記載の移動体通信端末。

【請求項3】

前記録画の要求に応答して、前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表から、前記録画の要求がなされた番組の終了時刻を取得する番組終了時刻取得手段と、

前記番組終了時刻取得手段によって取得された該番組の終了時刻と、現在の時刻と、から該番組の残り放送時間を特定する残り放送時間特定手段と、

前記移動体通信端末において、前記残り放送時間特定手段によって特定された前記放送時間の番組を録画することが可能であるか否かを判別する番組録画判別手段と、
をさらに備え、

前記録画指令手段は、

前記番組録画判別手段によって前記移動体通信端末において前記残り放送時間の番組を録画することが不能であると判別された場合、前記録画指令を前記ネットワークを介して前記録画装置に送信する、

ことを特徴とする請求項1に記載の移動体通信端末。

【請求項4】

前記番組録画判別手段によって前記移動体通信端末において前記残り放送時間の番組を録画することが不能であると判別された場合、該番組を、前記移動体通信端末において録画するか、前記録画装置において録画するかを選択するよう、前記ユーザに指示をする選択指示手段をさらに備え、

前記録画指令手段は、

前記選択手段による指示に応じて前記ユーザが前記録画装置において録画することを選択した場合、前記録画指令を前記ネットワークを介して前記録画装置に送信する、ことを特徴とする請求項 3 に記載の移動体通信端末。

【請求項 5】

前記録画指令手段は、

前記録画指令を電子メールに組み込んで前記ネットワークを介して前記録画装置に送信する、

ことを特徴とする請求項 1, 2, 又は 4 に記載の移動体通信端末。

【請求項 6】

移動体通信端末と、該移動体通信端末とネットワークを介して接続された録画装置と、から構成される録画システムであって、

前記移動体通信端末は、

ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、録画の要求がなされた番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令を前記ネットワークを介して前記録画装置に送信する録画指令送信手段を備え、

前記録画装置は、

前記録画指令送信手段より送信された前記録画指令を受信する録画指令受信手段と、

前記録画指令受信手段が受信した前記録画指令に含まれる情報から、前記番組の開始時刻を特定する番組開始時刻特定手段と、

前記番組開始時刻特定手段によって特定された前記番組の開始時刻と、現在の時刻と、を比較する時刻比較手段と、

前記時刻比較手段による比較結果に基づいて、前記番組の録画の開始時刻を決定する録画開始時刻決定手段と、

前記録画開始時刻決定手段によって決定された前記録画の開始時刻において、前記番組の録画を開始する番組録画開始手段と、を備える、

ことを特徴とする録画システム。

【請求項 7】

前記移動体通信端末と前記ネットワークを介して接続され、前記番組表を該移動体通信端末に提供可能な番組表サーバをさらに備え、

前記移動体通信端末は、

前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表に前記録画の要求がなされた番組が掲載されていない場合、前記番組表サーバから、該録画の要求がなされた番組が掲載された前記番組表を取得する番組表取得手段をさらに備える、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の録画システム。

【請求項 8】

各番組の開始時刻を特定可能な番組表を記憶する番組表記憶手段を備える移動体通信端末に組み込まれているコンピュータに、

ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表から、該録画の要求がなされた番組の開始時刻を取得する番組開始時刻取得手順と、

前記番組開始時刻取得手順によって取得された前記番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令をネットワークを介して所定の録画装置に送信することにより、前記録画の要求がなされた番組の録画を該録画装置に指令する録画指令手順と、を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】移動体通信端末、録画システム、及びプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、移動体通信端末、録画システム、及びプログラムに関し、特に、移動体通信端末を利用して、放送前の番組の録画予約のみならず、放送中の番組の録画をも行うことができる移動体通信端末、録画システム、及びプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、移動体通信端末を利用して、放送前の番組の録画予約のみならず、放送中の番組の録画をも行うことができる移動体通信端末、録画システム、及びプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するため、本発明の第1の観点にかかる移動体通信端末は、各番組の開始時刻を特定可能な番組表を記憶する番組表記憶手段と、ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表から、該録画の要求がなされた番組の開始時刻を取得する番組開始時刻取得手段と、前記番組開始時刻取得手段によって取得された前記番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令を

ネットワークを介して所定の録画装置に送信することにより、前記録画の要求がなされた番組の録画を該録画装置に指令する録画指令手段と、を備える。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、本発明の第2の観点に係る録画システムは、移動体通信端末と、該移動体通信端末とネットワークを介して接続された録画装置と、から構成される録画システムであって、前記移動体通信端末は、ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、録画の要求がなされた番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令を前記ネットワークを介して前記録画装置に送信する録画指令送信手段を備え、前記録画装置は、前記録画指令送信手段より送信された前記録画指令を受信する録画指令受信手段と、前記録画指令受信手段が受信した前記録画指令に含まれる情報から、前記番組の開始時刻を特定する番組開始時刻特定手段と、前記番組開始時刻特定手段によって特定された前記番組の開始時刻と、現在の時刻と、を比較する時刻比較手段と、前記時刻比較手段による比較結果に基づいて、前記番組の録画の開始時刻を決定する録画開始時刻決定手段と、前記録画開始時刻決定手段によって決定された前記録画の開始時刻において、前記番組の録画を開始する番組録画開始手段と、を備える、ことを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本発明の第3の観点に係るプログラムは、各番組の開始時刻を特定可能な番組表を記憶する番組表記憶手段を備える移動体通信端末に組み込まれたプログラムであって、コンピュータを、ユーザが視聴中の番組についてなした録画の要求に応答して、前記番組表記憶手段に記憶されている前記番組表から、該録画の要求がなされた番組の開始時刻を取得する番組開始時刻取得手順と、前記番組開始時刻取得手順によって取得された前記番組の開始時刻を特定可能な情報を含む録画指令をネットワークを介して所定の録画装置に送信することにより、前記録画の要求がなされた番組の録画を該録画装置に指令する録画指令手順と、を実行させる。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明によれば、移動体通信端末を利用して、放送前の番組の録画予約のみならず、放送中の番組の録画をも行うことができる移動体通信端末、録画システム、及びプログラムを提供することができる。